

2021世界体操・新体操選手権北九州大会 におけるメディカルガイドラインの公表及び 新型コロナウイルス感染症対策について

2021世界体操・新体操選手権北九州大会組織委員会

令和3年10月8日

LOC（大会組織委員会）

3 すべての人に
健康と福祉を



メディカル部

- ・ 新型コロナウイルス対策 メディカルガイドラインの作成

COVID-19 対策会議

感染状況やワクチン接種状況等を踏まえた上で、

- ・ 大会の開催可否について判断
- ・ 観客の有無について判断
- ・ 観客の上限について判断

大会における新型コロナウイルス感染症対策基本方針①



2021世界体操・新体操のWHO基準によるリスクアセスメント評価

3 すべての人に
健康と福祉を



WHO 総合リスク判定マトリックス

リスク低減対策の状況(評価点)	76-100	51-75	26-50	0-25
リスクアセスメント・評価 リスクアセスメント・タグ	COVID-19の影響を緩和するために、 非常に よく準備されている	COVID-19の影響を緩和するために、 準備 されている	COVID-19の影響を緩和するために、 いくぶん 準備されていない	COVID-19の影響を緩和するために、 準備が 非常に整っていない
0 - 無視できる	非常に低い	非常に低い	非常に低い	非常に低い
1 - 非常に低リスク	非常に低い	非常に低い	低い	低い
2 - 低リスク	低い	低い	低い	中等度
3 - 中等度(低-中等度)	<u>低い</u>	中等度	中等度	中等度
4 - 中等度(中等度-高)	中等度	中等度	高い	非常に高い
5 - 高リスク	高い	高い	非常に高い	非常に高い
6 - 非常に高リスク	非常に高い	非常に高い	非常に高い	非常に高い

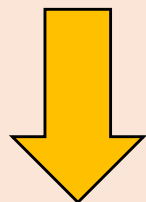
他の国際スポーツ大会での知見活用

3 すべての人に
健康と福祉を



(1) 東京オリンピック・パラリンピックでの対策

- ・ 水際対策やスクリーニング検査
- ・ 選手や関係者の行動制限
- ・ プレイブックで定められた感染防止対策
⇒陽性率の低水準（安全性の確保）



東京オリンピック・パラリンピック
における対策を参考に

(2) 今大会での具体的対策

○バブル方式の徹底

- ・ 宿泊施設や大会会場、練習会場での監視員配置による感染対策ルールへの順守徹底
- ・ 有観客への対策

大会における新型コロナウイルス感染症対策



3 すべての人に
健康と福祉を



選手・大会関係者における感染対策

➤ 共通対策（基本的感染対策の徹底）

- ・ 短い間隔での手洗い、手指消毒
- ・ 日常衛生の実践（身体活動前後でのシャワー）
- ・ 握手の禁止
- ・ 常時マスク着用及び汚れた場合のマスク交換
- ・ フィジカルディスタンスの維持
- ・ 携帯電話など、個人所持品の頻繁消毒 など

➤ 参加者の規模縮小

- ・ 世界体操 ⇒ 登録選手：最大 10名／1か国 帯同スタッフ：選手の2倍程度
- ・ 世界新体操 ⇒ 登録選手：最大 9名／1か国 帯同スタッフ：選手の1.5倍程度

➤ 選手・大会関係者における対策

- ・ 選手等の行動を制限し、外部との接触を防ぐバブル方式の運用徹底
- ・ 無症状の感染者を見逃さないスクリーニング検査の実施
(選手・大会関係者、その他スタッフをカテゴリー分けし、適切な頻度での検査を実施)

⇒国との誓約書で求められる水準以上の検査を実施予定

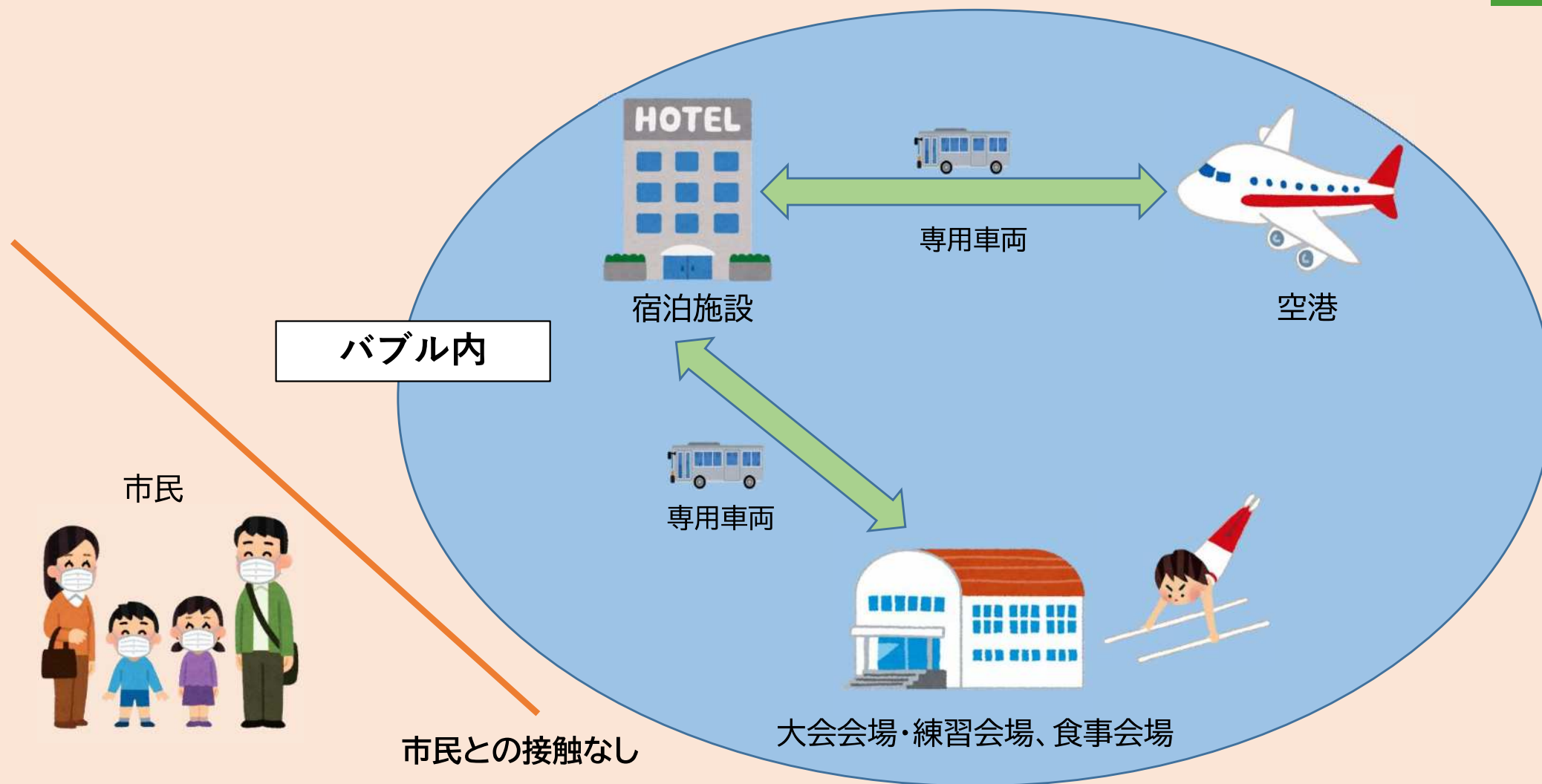
(例) 選手等：入国後3日目まではPCR検査・抗原検査の併用実施、その後も定期PCR検査実施 等

- ・ 選手の近くで活動するスタッフに対する積極的なワクチン接種の推奨
- ・ CO2濃度監視システムの導入 など

大会における新型コロナウイルス感染症対策

選手等のバブル方式の運用徹底

3 すべての人に
健康と福祉を



選手等の移動時における感染対策

3 すべての人に
健康と福祉を



日本国内においては、LOCが用意するバス・ハイヤーを使用し、電車等の公共交通機関は禁止

①入国前

- ・日本入国前14日間の健康観察
- ・出発前72時間以内の検査結果陰性証明取得・提示
- ・空港でのCOVID-19検査受検

②入国（羽田・成田空港）

- ・制限エリアを設け、エリア内で誓約書、座席位置のチェック
- ・PCR検査の実施後、結果判明まで指定場所で待機
- ・陰性確認後、入国審査

③国内線乗換

- ・一般人と動線を分けてバス乗り場まで移動
- ・LOCが用意するバス、ハイヤーで国内線ターミナルへ移動

④空港から宿泊施設

- ・一般人と動線を分けてバス／ハイヤー乗り場へ移動
- ・LOCが用意するバス、ハイヤーで宿泊施設へ移動

各セクションに
おいて、専用の
スタッフを配置

選手等の飲食時における感染対策

3 すべての人に
健康と福祉を



➤ 食事場所

- ・メインダイニングは一ヶ所に限定
- ・大会会場における食事施設
- ・自室でとれる弁当の配布



食事場所を限定することで
感染対策を強化

○感染対策

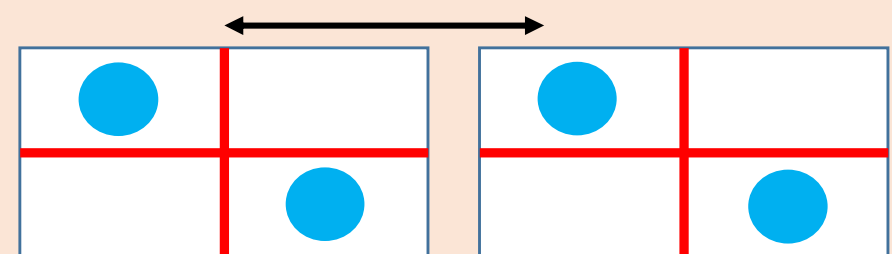
- ・入口でのアルコール消毒及び検温の実施
- ・個包装のバイキング形式（ドリンクはペットボトルor紙パック）
- ・テーブル間のソーシャルディスタンス確保
- ・飛沫防止パネルの設置
- ・黙食 など

➤ 施設管理者による対応

- ・配膳スタッフのマスク着用
手袋とフェイスシールドの適宜着用
- ・待機列フットサインの設置
- ・テーブル等の定期的な消毒と清掃 など

配席イメージ

2 m以上



アクリル板

席

大会における新型コロナウイルス感染症対策



選手・スタッフ等へのスクリーニング検査（予定）



●：PCR検査実施 抗原：抗原定性検査 黒字：誓約事項 赤字：リスク軽減のため大会独自に行う検査

		入国日 0日目*	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目	13日目	14日目	活動終了 後5日目	活動終了 後14日目
A	選手	海外	●	●+抗原	●+抗原	●+抗原				●						●		
		指定国**	●	●+抗原	●+抗原	●+抗原		●**		●		●**				●		
		国内	●	●+抗原	●+抗原	●+抗原				●						●	抗原	抗原
B	コーチなど選手に付き添う スタッフ、ジャッジ、FIG関係者他	海外	●	●+抗原	●+抗原	●+抗原				●						●		
		指定国**	●	●+抗原	●+抗原	●+抗原			●**		●		●**			●		
		国内	●	●+抗原	●+抗原	●+抗原					●					●	抗原	抗原
C	通訳、整体師など、カテゴリABIに 帯同するスタッフ	●			●					●						●	抗原	抗原
D1	観客席エリアに立ち入るスタッフ 関係者エリアへ立ち入るが、カテゴリ ABIに帯同しないスタッフ	ワクチン ***																
D2	観客席エリアへ立ち入らないスタッフ 関係者エリアへ立ち入るが、カテゴリ ABIに帯同しないスタッフ	●+抗原 ****																
E	観客対応をしない、関係者エリアへ 立ち入らないスタッフ(駐車場案内等)																	

- * 日本人選手団及び対象者に帯同する日本国内から参加する選手及びスタッフについては、入国日0日目を、はじめてLOC指定施設へ入る72時間前に読み替える。
- ** 指定国および検査頻度は、国が定める最新の「[水際対策上特に懸念すべき変異株等に対する新たな指定国・地域について](#)」に基づき変更。
- *** ワクチン2回接種済み証明書（2回目接種から2週間以上経過していること。ワクチン接種証明書または2回の接種終了が分かる接種券や記録書・接種済証等（コピー可））の提示。
- **** 72時間前までのPCR検査陰性証明書またはワクチン2回接種済み証明書（2回目接種から2週間以上経過していること。ワクチンパスポート、市町村が発行するワクチン接種記録書でも可）の提示、もしくは、LOCが用意するPCR検査および抗原定性検査の受検とする。

大会における新型コロナウイルス感染症対策



陽性者対応フロー

3 すべての人に健康と福祉を



宿泊施設

〇〇ホテル
感染対策責任者

〇〇国代表者
(チームドクター)

選手・関係者

検体(唾液)採取

〇〇国代表者
(チームドクター)

選手・関係者

検体(唾液)採取

〇〇国代表者
(チームドクター)

選手・関係者

検体(唾液)採取

〇〇ホテル
感染対策責任者

〇〇ホテル
感染対策責任者

【スクリーニング検査機関】
SB新型コロナウイルス検査センター(株)

【選手、関係者】
検体回収、搬送、検査

PCRスクリーニング検査

- ◆選手・コーチ等
- ◆関係者(選手への接触頻度に応じて検査)

陽性

陰性

【疑似症患者の診察・検査】
こうゆうファミリークリニック

【疑似症患者】
検体搬送、検査、診察

PCR検査

陽性

陰性

入院調整

新型コロナウイルス
感染症発生届

福岡県新型コロナウイルス
感染症調整本部

北九州市保健所

報道発表

感染対策統括責任者

①スクリーニング
陽性疑いの
往診、再検査

②発熱等の症状が
出た場合
往診、検査

ワクチン・検査パッケージについて



ワクチン・検査パッケージの活用及び感染防止安全計画の都道府県による確認を受けた場合には、現行の人数上限を上回る人数及び収容率100%でのイベントの実施を可能とする。

(令和3年9月28日 新型コロナウイルス感染症対策本部決定)



①ワクチン・検査パッケージとは

- ・ ワクチン2回接種者 (※接種から2週間経過)
- ・ 入場前72時間以内PCR陰性証明持参

入場を限定



上記に加え、
感染対策の徹底

有効席数の100%での有観客

- ・ 安全・安心な大会運営
- ・ より多くの観客が観戦可能



②国の技術実証

感染対策と日常生活の両立のため、大規模イベントや飲食店等を対象とした、制限緩和のための技術実証を10月・11月に実施

③技術実証に選定された大規模イベント (10月1日公表資料より)

※技術実証は入場人数の制限を緩和

- ・ 10月6日 Jリーグ YBC ルヴァンカップ準決勝
- ・ 10月12日 FIFA ワールドカップカタール 2022 アジア最終予選@埼玉S

- ・ 10月18～31日 2021世界体操競技選手権・世界新体操選手権 北九州大会 @北九州市立総合体育館・西日本総合展示場 新館

<お問い合わせ先>2021世界体操・新体操選手権北九州大会 組織委員会事務局

TEL:093-482-2756 FAX:093-482-4154

北九州市市民文化スポーツ局 世界体操・新体操選手権推進室

TEL:093-582-3666 FAX:093-582-2677